2025年10-11月

日医工株式会社富山市総曲輪1丁目6番21

「使用上の注意」 改訂のお知らせ

深在性真菌症治療剤

劇薬、処方箋医薬品注)

日本薬局方 ボリコナゾール錠

ボリコナゾール錠 50mg「NIG」 ボリコナゾール錠 200mg「NIG」

製造販売元 日医工岐阜工場株式会社 発売元 日 医 工 株 式 会 社

注)注意-医師等の処方箋により使用すること

この度、上記製品において、「使用上の注意」の一部を改訂(下線部)しましたので、お知らせ申し上げます。今後の弊社製品のご使用に際しましては、下記内容をご高覧くださいますようお願い申し上げます。

<改訂内容>(_____:自主改訂)

改訂後

2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)

2.1 次の薬剤を投与中の患者:リファンピシン、リファ ブチン、エファビレンツ、リトナビル、ロピナビル・ リトナビル、ニルマトレルビル・リトナビル、カルバ マゼピン、バルビタール、フェノバルビタール、ピモ ジド、キニジン、イバブラジン、麦角アルカロイド(エ ルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピ リン、ジヒドロエルゴタミン、エルゴメトリン、メチ ルエルゴメトリン)、トリアゾラム、チカグレロル、 アスナプレビル、ロミタピド、ブロナンセリン、スボ レキサント、リバーロキサバン、アゼルニジピン、オ ルメサルタン メドキソミル・アゼルニジピン、ベネ トクラクス (再発又は難治性の慢性リンパ性白血病(小 リンパ球性リンパ腫を含む)の用量漸増期)、アナモ レリン、ルラシドン、イサブコナゾニウム、フィネレ ノン、エプレレノン、ボクロスポリン、マバカムテン 「10.1 参照〕

2.2~2.3 省略(変更なし)

改訂前

2. 禁忌 (次の患者には投与しないこと)

2.1 次の薬剤を投与中の患者: リファンピシン、リファブチン、エファビレンツ、リトナビル、ロピナビル・リトナビル、ニルマトレルビル・リトナビル、カルバマゼピン、バルビタール、フェノバルビタール、ピモジド、キニジン、イバブラジン、麦角アルカロイド(エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミン、エルゴメトリン、メチルエルゴメトリン)、トリアゾラム、チカグレロル、アスナプレビル、ロミタピド、ブロナンセリン、スボレキサント、リバーロキサバン、アゼルニジピン、オルメサルタン メドキソミル・アゼルニジピン、ベネトクラクス(再発又は難治性の慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む)の用量漸増期)、アナモレリン、ルラシドン、イサブコナゾニウム、フィネレノン、エプレレノン、ボクロスポリン[10.1 参照]

2.2~2.3 省略

<改訂内容>(:自主改訂)

- (
改訂後			改訂前		
10. 相互作用			10. 相互作用		
省略(変更なし)			省略		
10.1 併用禁忌 (併用しないこと)			10.1 併用禁忌 (併用しないこと)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
省略(変更なし)			省略		
ボクロスポリン (ルプキネス) [2.1 参照]	省略(変更なし)		ボクロスポリン (ルプキネス) [2.1 参照]	省略	
マバカムテン (カムザイオス) [2.1 参照]	り、マバカムテンの	本剤はマバカムテンの 代謝酵素 (CYP3A4) を阻害する。	←追記		

<改訂理由>

・相互作用相手薬の「使用上の注意」との整合を図るため、**2. 禁忌**及び **10.1 併用禁忌**に「マバカムテン」 を追記しました。

<GS1 バーコード>

最新の注意事項等情報につきましては、添付文書閲覧アプリ「添文ナビ®」で下記 GS1 バーコードを 読み取ることで、スマートフォンやタブレット端末でご覧いただけます。

なお、「添文ナビ®」アプリにつきましては、ご使用になられる端末に合わせて「App Store」または「Google Play」よりダウンロードしてください。

今回の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE (DSU) 医薬品 安全対策情報 No.340」(2025 年 11 月発行)に掲載の予定です。

また、改訂後の電子化された添付文書は医薬品医療機器総合機構ホームページ(https://www.pmda.go.jp/)ならびに弊社ホームページ「医療関係者の皆さまへ」(https://www.nichiiko.co.jp/medicine/)に掲載されます。